

平成 20 年 2 月 7 日

会社名 株式会社ユビテック
 代表者 代表取締役社長 荻野 司
 (コード 6662 大証 HC スタンダード)
 問合せ先 取締役管理本部長 明石 直人
 ※2/8 迄 (TEL.03-3344-7511)
 ※2/12 迄 (TEL.03-5387-5560)

平成 20 年 6 月期通期業績予想ならびに期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 8 月 9 日の決算短信発表時に公表した平成 20 年 6 月期 (平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日) の通期業績予想ならびに期末配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1 平成 20 年 6 月期通期業績予想数値の修正 (平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

(1) 連結

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,500	550	550	276	7,916 円 69 銭
今回修正予想 (B)	4,300	200	205	78	2,237 円 63 銭
増減額 (C=A-B)	△2,200	△350	△345	△197	—
増減率 (C/A) %	△33.8	△63.6	△62.7	△71.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 6 月期)	6,490	513	520	273	7,789 円 80 銭

(2) 個別

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,480	494	494	262	7,516 円 00 銭
今回修正予想 (B)	3,400	150	155	58	1,660 円 22 銭
増減額 (C=A-B)	△2,080	△344	△339	△204	—
増減率 (C/A) %	△38.0	△69.7	△68.7	△77.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 6 月期)	5,543	196	379	205	5,851 円 45 銭

2 平成 20 年 6 月期配当予想の修正

(基準日)	1 株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
前回発表予想	—	—	2,250	00	2,250	00
今回修正予想	—	—	1,000	00	1,000	00
(ご参考) 前期の 1 株当たり配当金実績	—	—	2,250	00	2,250	00

3 修正の理由

当期の連結および個別業績の主な修正理由についてご説明いたします。売上高については、第 2 四半期以降、量産案件の受注が落ち込み、第 3 四半期以降も受注回復の目途がたたないため、前回発表予想を下回る見通しとなりました。これは、市場の需要が一巡した際に発生する生産調整および昨今のサブプライムローン問題に端を発する金融不安から起こる欧米諸国の個人消費の冷え込み予想等の影響によるものです。営業利益、経常利益および当期純利益につきましては、売上高の減少が影響し前回予想を下回る見込みであります。また、電子機器事業においては受託開発案件の受注が減少し、自社製品開発に集中をしていること、モバイル・ユビキタス事業においては移動機評価業務が堅調に推移しているものの、ユビキタス事業の案件獲得が難航していることもこの度の減収・減益に影響しております。

加えて、オフィス賃貸費用節減のため本年 2 月 12 日より、本社を現在の新宿から五反田へ移転いたします。今後の賃料の圧縮効果は大きいものの、一時的な移転費用計上が発生する予定です。以上のことより、業績予想の修正をさせていただきました。

現在、オリックス株式会社や松下電工株式会社との協業案件獲得に向けた体制強化およびコストの見直しを行い、第 3 四半期以降の顕在化、収益性の向上に尽力しておりますが、具体的な改善数値は現時点においては不確定であります。

また、期末配当予想につきましては、内部留保とのバランスを考慮する配当政策を基本としておりますので、当期純利益の減少予想に伴い、誠に遺憾ながら 1 株当たり 1,000 円 00 銭（前回予想比 △1,250 円 00 銭減少）に修正させていただきます。

[注] 以上の業績予想は、現時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動及び経済情勢等の変化により、実際の業績と本開示内容における見通しとは異なる可能性があります。

以 上